

2026.Feb.

vo1. 6

 奈良県立医科大学附属病院  
Nara Medical University Hospital

地域連携・入退院支援センター 広報誌

**M** *Medical*  
*Engagement*  
*Relationship*  
**ER**

# 地域医療連携 だより



▲第7回連携登録医のつどいより

## topics

- ・センター長挨拶 …3
- ・整形外科教授 就任挨拶 …4
- ・皮膚科教授 就任挨拶 …5
- ・第7回連携登録医のつどい 開催報告 …6
- ・Web予約システムが新しくなりました …8



患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。



## 1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。また高度救命救急センターに加え、ER救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

## 2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

## 3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

## 4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。



- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。



地域連携・入退院支援センター長  
消化器・代謝内科 教授

吉治 仁志



平素より、奈良県立医科大学附属病院 地域連携・入退院支援センターの運営に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当センターは、地域医療連携室と入退院支援機能を一体化した組織として一昨年に発足以来、地域の医療機関、介護・福祉施設の皆様と緊密に連携しながら、多くの患者さんの円滑な診療・入退院支援に取り組んでまいりました。日々の診療連携が滞りなく行われているのは、ひとえに地域の先生方、関係職種の皆様の多大なるご協力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

2026年は、紹介患者さんの迅速かつ適切な受け入れ体制をさらに強化するとともに、急性期医療から在宅・回復期医療への切れ目のない支援をより一層充実させていくことが重要であると考えております。特に、高度医療や緊急性の高い症例、複合的な支援を要する患者さんに対しては、地域の先生方と密に情報共有を行い、最善の医療を提供できる体制づくりに努めてまいります。

2025年11月からは患者さんや医療機関双方の負担軽減を目的として新WEB予約システムを導入しました。従来に比べて予約取得が容易になっていますので積極的にご利用頂ければ幸いです。

また、スマホでの診察・会計・お薬待ち確認など混雑緩和の最適化にも引き続き取り組んでまいります。加えて、連携登録医のつどいや地域医療連携懇話会を通じて顔の見える関係を深め、奈良県全体の医療の質向上に貢献していきたいと考えております。

本年も、地域医療を支える一員として、県民一人ひとりに寄り添った医療連携を実践してまいります。引き続き、変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 教授就任挨拶

### 整形外科

### 教授 河村 健二

---

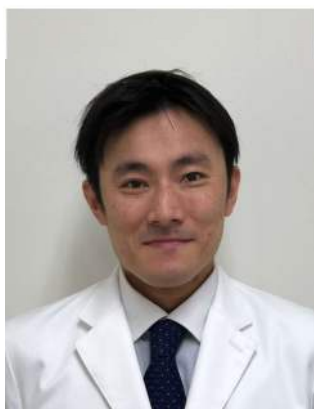
令和7年10月16日に奈良県立医科大学整形外科学講座教授に着任いたしました河村健二と申します。私は平成11年に奈良県立医科大学を卒業し、平成28年より奈良県立医科大学附属病院玉井進記念四肢外傷センターの准教授・副センター長を拝命し、現在は同センターのセンター長を兼任しております。専門領域は、手の外科、マイクロサージャリー、四肢外傷となります。

奈良県立医科大学整形外科学講座は、令和6年に開講70周年を迎えました。長い講座の歴史の中で、玉井進名誉教授による世界初の切断指再接着や高倉義典名誉教授による人工足関節の開発など、世界に誇れる業績をあげてきました。大学病院に求められる医療は時代とともに変化しておりますが、開講以来、すべての整形外科分野に対応できる診療体制を構築しております。

世界一の超高齢化社会である日本において、整形外科医の果たすべき役割はかつてない程に大きくなっております。高齢者が要支援となる主な原因は、関節疾患、衰弱、骨

折・転倒などの運動器の障害であり、整形外科医の働きに大きな期待が寄せられております。整形外科においては、90歳代の患者の手術は一般的であり、100歳を超える患者の手術も珍しくありません。大腿骨近位部骨折に対しては、48時間以内の早期手術が目標となりました。医療技術の進歩により、骨折手術、人工関節手術、脊椎手術などは安全に良好な成績が得られるようになりました。国民の健康寿命の延伸に貢献することが、整形外科医の重要な責務と考えております。

これからの医療は、超高齢化社会だけでなく、人口減少、社会保障制度の低下、医師の偏在化、AI診療などの様々な問題に対して迅速に対応していく必要があります。講座の伝統を尊重しながらも、常に“先の先”を見通して、改革を恐れない講座運営を行っていきたいと考えております。今後とも皆様方のご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 教授就任挨拶

### 皮膚科

### 教授 新熊 悟

---

このたび、令和7年12月1日付で、奈良県立医科大学皮膚科学講座の教授に就任いたしました新熊 悟(しんくま さとる)と申します。日頃より地域医療の最前線で診療にあたられている先生方に、心より敬意を表しますとともに、今後の医療連携に向けてご挨拶申し上げます。

私は平成16年に奈良県立医科大学医学部医学科を卒業後、奈良県立医科大学附属病院にて初期臨床研修を行いました。その後、北海道大学皮膚科に入局し、新潟大学皮膚科での勤務を経て、大学病院および地域医療の現場で皮膚科診療と研究に携わってまいりました。令和2年からは母校である奈良県立医科大学皮膚科に准教授として戻り、浅田秀夫前教授のご指導のもと、診療、教育、研究、ならびに教室運営に従事してまいりました。

本講座は、坂本邦樹初代教授以来、長年にわたり地域医療とともに歩み、多くの先生方との信頼関係のもと発展してきた教室です。その伝統を引き継ぎ、第5代教授

として、今後も地域に根ざした皮膚科診療を大切にしながら、大学病院としての役割を果たしていきたいと考えております。

皮膚疾患は日常診療で遭遇する頻度が高く、慢性疾患や難治性疾患も少なくありません。当科では、皮膚免疫・アレルギー、水疱症、ウイルス性皮膚疾患、遺伝性皮膚疾患などを中心に専門的診療を行うとともに、地域の先生方と役割分担を図り、必要に応じて適切なタイミングでの紹介・逆紹介を重視しております。

今後も、奈良県内の病院・診療所の先生方と密に連携し、気軽にご相談いただける診療科を目指して、双方向の病診連携をさらに充実させてまいります。皮膚疾患に苦しむ患者さんに、より良い医療を地域全体で提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 開催報告

# 第七回連携登録医のつどい 開催報告

「連携登録医のつどい」は、患者さんに安心して継続的に医療を受けていただくため、登録医の方と当院医師とが緊密な医療連携を図り、顔の見える関係を構築することを目的として開催しています。

講演Ⅰでは当院眼科の教授である加瀬諭先生から、奈良医大における眼科診療についてをお話いただき、講演Ⅱでは同じく当院呼吸器・アレルギー内科教授である室繁郎先生から呼吸器疾患における奈良医大の役割をお話いただきました。

第二部の診療科紹介では、当院の外来医長等より、連携登録医の先生方に向けひとことご挨拶いたしました。

当日はWEBを含め総勢47名の方にご参加いただき、参加者の皆様からは「勉強になりました。」「有意義な講演だった。」とのお声を頂戴しました。今後も、当院と連携登録医の先生方との親睦を深められるよう、開催を予定してまいります。お忙しい中ご参加いただいた皆様、ならびに開催にご協力いただきました皆様には重ねて御礼申し上げます。

開催日時 令和7年11月27日(木) 14:00~15:30

場所 奈良医大 蔵書会館3F 大ホール Zoomウェビナー

【挨拶】奈良医大附属病院 院長 吉川 公彦

### 【第1部】講演会

座長 奈良医大附属病院 地域連携・入退院支援センター長 消化器・代謝内科 教授 吉治 仁志

講演Ⅰ『奈良医大における眼科診療について』

奈良県立医科大学附属病院 眼科 教授 加瀬 諭

講演Ⅱ『呼吸器疾患における奈良医大の役割 ～地域連携で患者さんの“息”を守る～』

奈良県立医科大学附属病院 呼吸器・アレルギー内科 教授 室 繁郎

### 【第2部】診療科紹介



▲地域連携・入退院支援センター長  
消化器・代謝内科 教授  
吉治 仁志



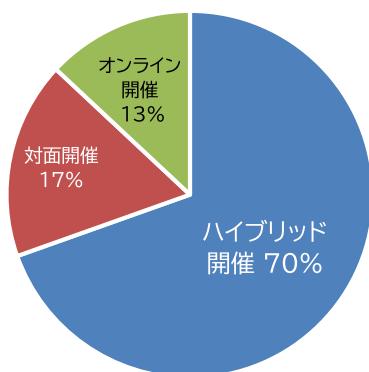
▲眼科 教授  
加瀬 諭



▲呼吸器・アレルギー内科 教授  
室 繁郎

## アンケート結果

### 希望開催形態



### 参加いただいた先生からのお声（抜粋）

「眼科の目の周辺の腫瘍、今まで見たことがなかったので勉強になりました。」

「眼疾患の鑑別を分かりやすく教授頂き、大変役に立った。早めに専門医の受診を促すようにします。」

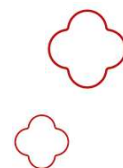
「眼瞼の異常が致命的転機をたどる場合があるということを知り、今後注視しようと思いました。」

「高齢化時代を迎え呼吸器疾患が増えているのを自覚している。」

「身近なテーマで、安心して紹介出来る。」

「ベルクロー音の聴診のコツをお聞きできたことが勉強になりました。」

参加者アンケート集計結果詳細は、  
当院ホームページにも掲載しております。  
下記のQRコードよりご覧ください。



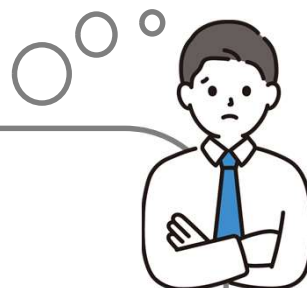
## NEWS

### Web予約システムが新しくなりました！

令和7年11月より、新しいWeb予約システムを導入いたしました。導入にあたり予約枠を拡充いたしましたので、ぜひご利用ください。

#### お困りではないですか？

- ・ 紹介予約を取りたい患者さんが来院したけれど、  
休日や夜間で予約日時がわからない
- ・ 空き状況がわからなくて、患者さんの予定を聞きづらい
- ・ 予約票を渡すためだけに、患者さんに再度来院を促す必要がある



**そんな時こそWEB予約システム  
をご利用ください！**

令和7年11月に新システムを導入後、県内・県外  
約**400施設**に登録いただいています。  
ご登録がまだの医療機関の方はこの機会にぜひご登録ください！



## Web予約なら…

- 希望日の空き状況が**その場で**確認できます
- **24時間365日**、その場で予約可能です
- 予約票をその場で印刷して患者さんにお渡しできます



# WEB予約申し込みの流れ

## ①IDとパスワードを入力し、ログインします

## ④予約日時を選択します

## ②予約したい診療科を選びます

## ⑤必要事項を入力します

## ③担当医師を選びます

最後に予約票を印刷し、患者さんにお渡しください！

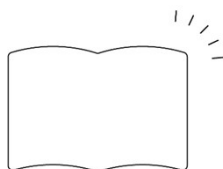
※のちほど、地域医療・入退院支援センター宛に診療情報提供書をFAXください

ご利用登録はこちらから

ご利用登録フォーム



ご利用には事前登録が必要です。フォームより申し込みができますので、ぜひご登録いただき、ご利用ください！※お申し込みから登録開始より1週間程度お時間をいただきます



## information

### 精神科より

・初診日にはかなりの時間を要します。来院後、予診→検査→本診察となりますが、**外来の混雑状況によっては本診察が夕方になる場合もございます**ので、患者さんにはご承知のうえご紹介いただきますようお願いいたします。

・18歳未満の患者さんは保護者同伴のうえお越しください。

・知的障害・発達障害のみの方の継続的な療育相談は、原則として行っておりません。

### 腫瘍内科より

・遺伝子パネル検査（標準化学療法終了見込み、もしくは、終了）は、院外からも積極的に受け入れています。

・院外からの固形癌の化学療法（大腸がん、肺がん、希少がん等）もケースバイケースで受け入れ可能です。

### 地域連携・入退院支援センターより



FAXで当院にご予約の際、記入いただいている「診療情報提供書（兼）予約診療登録票」ですが、最新のものをご利用いただいていますか？

診療科名の変更や、必要事項の追加等、内容を随時更新しております。

最新の予約診療登録票については当院ホームページにPDF、Excel形式で掲載しておりますのでご活用ください。

※連携登録医の先生方には最新の予約診療登録票を毎月のメールマガジンに添付しております。



## 交通アクセスのご案内



お車でお越しの場合

駐車場は附属病院南、国道165号線バイパス  
高架橋の南側にあります。

※平日午前中・雨天時は特に混雑します。

### 電車でお越しの場合

JR万葉まほろば線畝傍駅下車 徒歩約10分

近鉄大和八木駅下車 徒歩約15分又はバス約8分

近鉄八木西口駅下車 徒歩約10分

編集・発行 奈良県立医科大学附属病院 地域連携・入退院支援センター

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840

TEL (代表) 0744-22-3051/ (直通) 0744-29-8022

FAX 0744-23-9923 URL <https://hospital.naramed-u.ac.jp/>

発行 2026年2月

